

【意見】

私が関連する会社では農産物の直売所を運営しておりますが、出荷してくださる利根町の生産農家の方の話によりますと、最近猿、猪及び熊などによる農産物の被害が頻繁にあるとのこと。特に猿は集団で一気に畑全体の農産物を荒らして去っていくとのこと。鳥獣害対策の役員さん達のご苦勞をして下さり花火等で追い払おうとしても効果はあまりないようで、翌日また近隣の農地を荒らしていくとのこと。猟友会の方々もご苦勞をして下さっていると伺いますが、被害はなくならないようです。

生産農家の方々の悲痛な顔を見るたびに自分の無力さを感じます。何ヶ月も何十日も手をかけて育てた農産物を実が入ってさあ収穫という時を狙ってかのような鳥獣の仕業・・・私は許せません。現在の社会は銃の規制も厳しく所持することが困難とのことで猟銃の保有者が大幅に減り、猟友会の会員さんも高齢化で鳥獣退治が大変とのこと。非常に状況が悪い中ですが、このままですと農業を続ける方がどんどん減っていきます。鳥獣害対策として役所でのフェンスの設置や個人で電牧などを設置されておる方がおりますが、現在では、超音波で撃退する良い機械もあります。そう言うものの設置に関わる補助もあると聞きますが、更に補助を手厚くしてこの街をこの沼田を利根郡を守っていければと願ってやみません。

私は、仕事を通じ農業者と関わってきたこの4年間で感じるがあります。汗まみれ、泥まみれになって朝から晩まで休みもなく働いて、年収200万、300万とか言われている農業者の平均所得、あまりにも可愛そうだと思います。綺麗な格好で、8時30分から17時15分までで帰れる、500万も1000万も貰っている役所の方々をもっと親身になって考えてやってください。お願いします。

私たち民間の零細企業も我々の出来る範囲で農業者の方々と手を携えて希望の持てる地域にしていくようにしたいと思います。

9月は議会でお忙しいと思いますが、鳥獣の被害は待ってくれません。猿などが増えている昨今、私は猟友会の方々による撃退が一番と思いますので、自然保護団体の方々にはしばらく目をつぶっていただき、早急にその対策をしていただきますようお願いいたします。

これは、私だけでなく、手塩にかけ育てた農産物を収穫目前にして台無しにされた農家の皆さんの切実なる訴えです。

切に、切に、切にお願いいたします。

男：50代：市内在住

【回答】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

被害防止対策としては、電気柵、防護フェンス、防護ネットなどの侵入を防止するものや耕作地周辺の雑草刈りや森林内整備などの緩衝地帯の保全があります。

また、住民による花火などを利用した追い払いも地域全体で行うことにより効果があります。

有害鳥獣捕獲については、ニホンジカ・イノシシは、わな及び銃器により積極的な捕獲を行い個体数の減少を図っており、ニホンザルは、群れの分裂や被害地の拡大を抑制するため計画的な捕獲による個体数調整を行っています。

また、取り残し野菜などの放置や野菜や果樹のくずなどの山林への投棄、不要果

樹や桑等の放置などは、安易にえさを与え、対象鳥獣の増加につながりますので地域ぐるみで行わないようにする必要があります。

被害防止の電気柵等については、共同の取り組みとして市や県の補助があるほか、地域で取り組む場合には資材費の定額補助があります。

また、追い払い資材等は区長や各地区の有害鳥獣対策協議会を通じて配布を行っていますので活用して下さい。具体的な被害防止方法等について不明な点がありましたら、担当課にご相談下さい。

有害鳥獣対策については、地域住民・捕獲隊・市が一体となって取り組むことが被害軽減につながります。なかなか被害が減少しない現状ではありますが、現在、市としても出来る限りの被害防止対策に努めてまいりたいと思っておりますが、地域住民の方にも引き続きご協力をいただくとともに、有効な手段がありましたらご提言いただければ幸いです。

今後ともよろしく願います。

担当：利根町振興局産業課